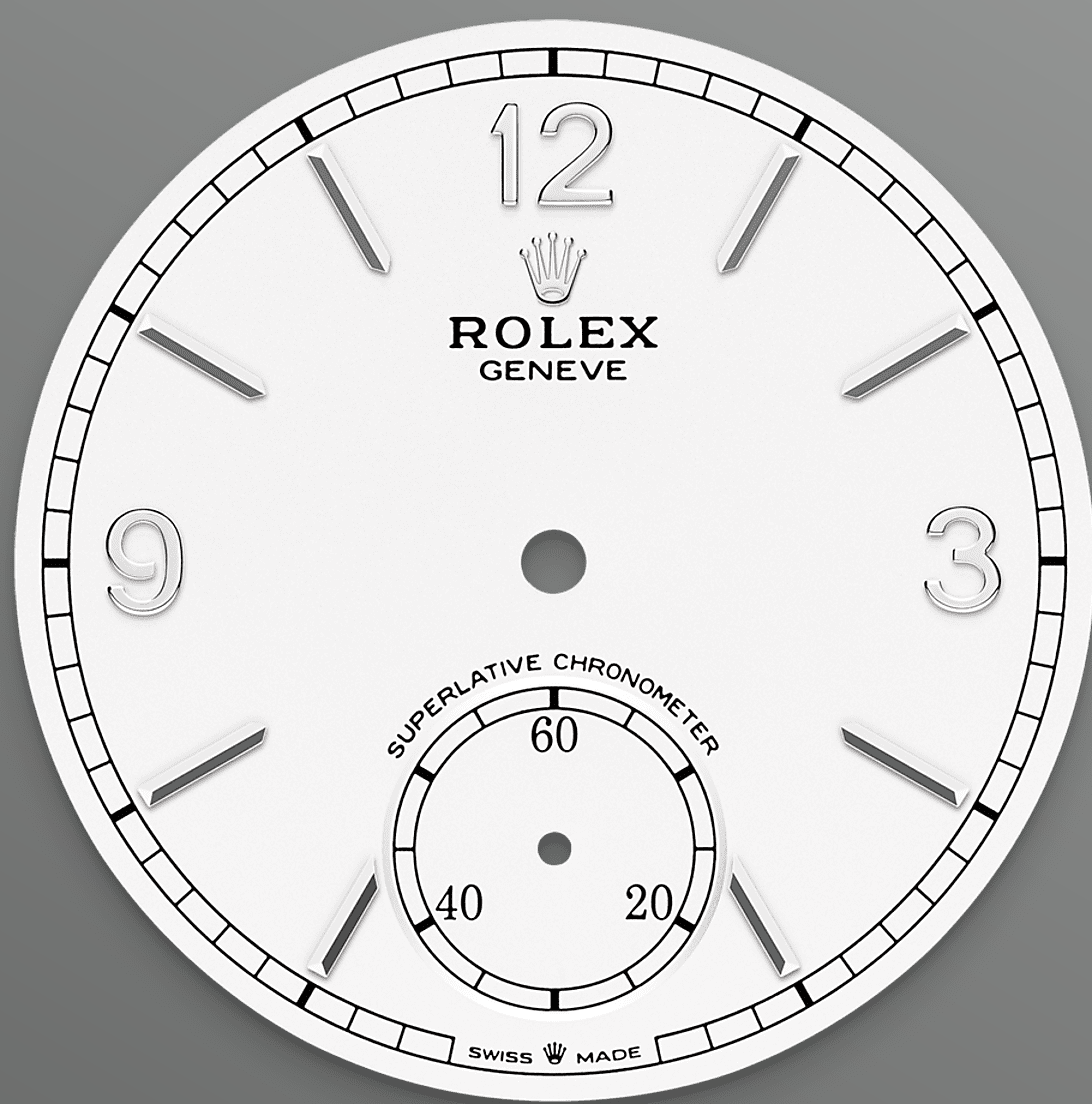




1908

39 mm、18 ct ホワイトゴールド、ポリッシュ仕上げ

パーペチュアル1908は、
アリゲーターレザースト
ラップと18 ct ホワイト
ゴールドの39 mmのケー
スを備えている。



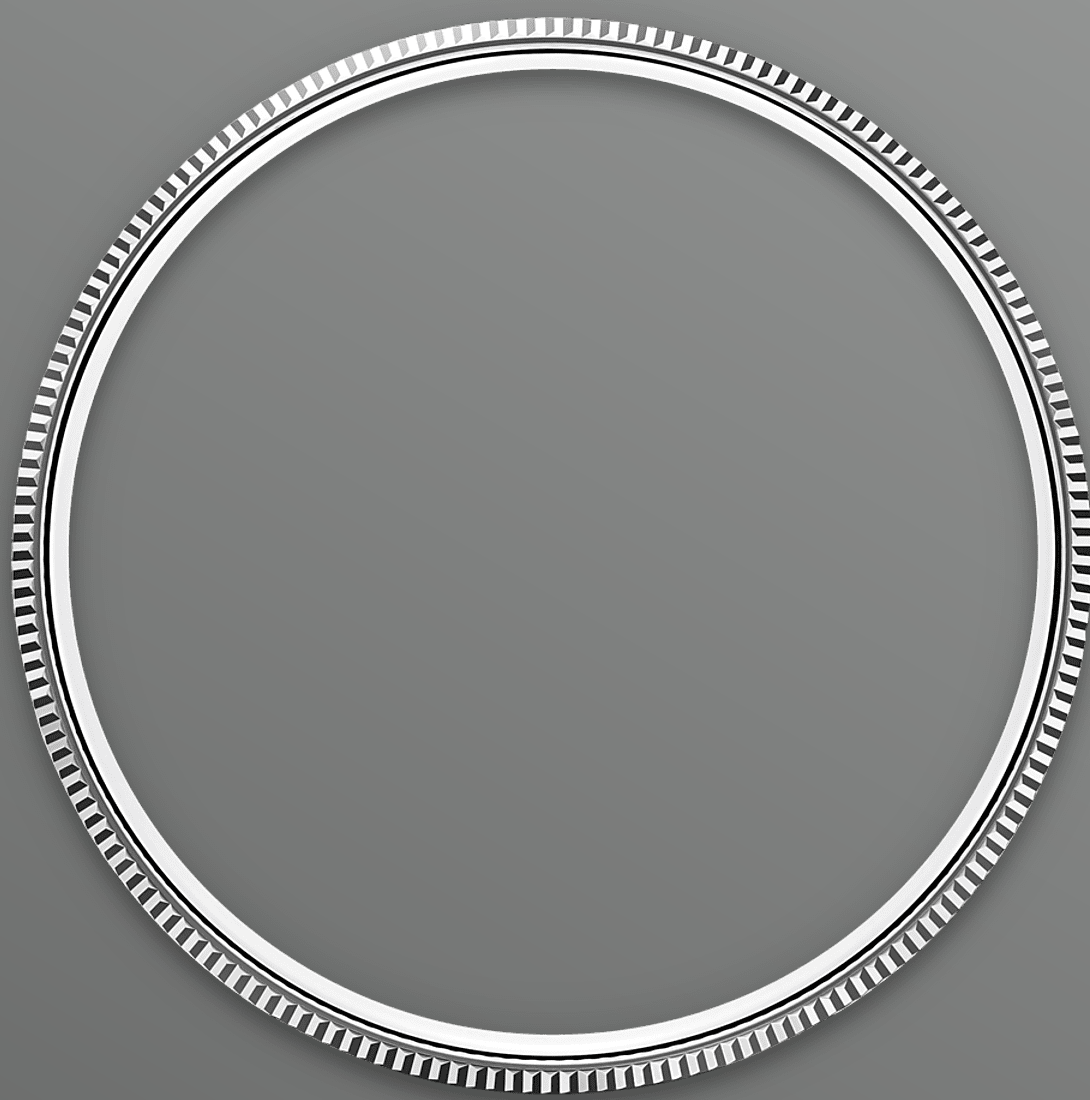
ホワイトダイヤル

ミニチュアの芸術作品

ダイヤルは一つひとつが小さな芸術品である。色、反射や表面の質感、そして装飾の要素と全体のデザインが、時計に固有の個性をもたらす。

ロレックスは自社でのダイヤル製作、製造のあらゆる側面を極めている。最初のスケッチから最終検査まで、カラーリングやアップリケも含めて、プロセスには特別な技術が必要とされる一連の工程や作業がある。それらの専門技術の一部、たとえばエナメル加工は時計製造の黎明期からのものである。また、他には真空状態で材料の薄い膜を被覆することでダイヤルの表面をカラーリングする複雑な技術の

マグネトロンスパッタリングという最先端技術を使用しているものもある。伝統的なスキルとテクノロジーの融合によるロレックスのダイアル製造は完璧で耐久性に優れたダイアルを生み出すために最高レベルの品質を追求するという、ブランドを導く理念を要約している。



ドーム、フルーテッドベゼル

Divided bezel

このエレガントでシンプルな時計にはスリムなケースに、ドームとフルーテッドを組み合わせたベゼルを備え、上部はドーム型で、下部にはエレガントなフルーティングが施されている。



18 ct ホワイトゴールド

時計製造へのあくなき追求

自社専用の鑄造場を所有するロレックスは、最高品質の18 ct ゴールド合金を鑄造する卓越した技術を誇る。混合するシルバー、銅、プラチナ、パラジウムの分量により、イエロー、ピンク、ホワイトと、異なる種類の18 ct ゴールドができる。

これらの合金の原材料となる極めて純度の高い金属は、最新設備を完備した自社研究所にて綿密に検査される。その後、同じように細心の注意を払ってゴ

ールド合金の製造と成型が実施される。ロレックスの時計製造への飽くなき追求は、地金にも及ぶ。



上質なストラップ

個別のあしらせ

1908モデルはアリゲーターレザーストラップを備えている。このエレガントなストラップはグリーンのカーフスキンライニングと、レザーと同系色のステッチが特徴的だ。

18 ct ホワイトゴールド製の二重折り畳み式のデュアルクラスプを備えている。細心の注意を払って設計された形状により、デュアルクラスプは常に手首の中心に固定される。

技術的詳細

1908

リファレンス 52509

モデルケース

種類

39 mm、18 ct ホワイトゴールド、ポリッシュ仕上げ

直径

39 mm

素材

ホワイトゴールド

ベゼル

ドーム、フルーテッド

リューズ

ドーム

クリスタル

傷防止サファイア

防水性

50m / 165フィート防水

ムーブメント

種類

パーペチュアル、機械式、自動巻

キャリバー

7140、ロレックスによる完全自社製造

精度

日差 -2 ~ +2 秒 (ケーシング後)

振動子

特許形状のシリコン製シロキシ・ヘアスプリング。高性能パラフレックスショック・アブソーバ

巻上げ

パーペチュアルローターによる両方向自動巻

パワーリザーブ

約66時間

機能

時針、分針、スモールセコンド（6時位置） 秒針停止機能による正確な時刻設定

ブレスレット

種類

レザーストラップ

クラスプ

二重折り畳み式デュアルクラスプ

ブレスレット素材

マットブラウン アリゲーターレザー

ダイヤル

種類

ホワイト

認定

種類

高精度クロノメーター (COSC、ケーシング後にロレックス認定)

Rolex.comで詳細 を見る

商標、サービスマーク、商品名、デザインおよび著作権といったすべての知的所有権は保護されています。

本ウェブサイトのいかなる内容も、文書による許可無くして複製することはできません。また、本ウェブサイトの内容は、ロレックス社により予告なしに変更されることがあります。

